



みやぎ

— 74号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
 〒989-2202
 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

副院長就任にあたって

このたび、久永欣哉副院長の退職に伴い、その後任として副院長を拝命した安藤肇史と申します。宮城病院には平成10年10月に脳神経外科医長として赴任しました。パーキンソン病の外科治療を中心とした機能的脳神経外科の臨床に長らく携わって来ました。平成22年4月に統括診療部長、平成28年10月からは特命副院長（経営担当）となり病院経営や管理の仕事も徐々に増えてきていましたが、ただこれまでは経営担当として患者確保をすれば良いという単純な考えでその職に当たっていたきらいがあり、久永副院長の病院全体に目配りをした仕事ぶりが自分にできるだろうかと不安があります。とは言っても、医療現場は現在もCOVID-19感染への対応に追われており、さらに当院は令和3年2月と令和4年3月に起こった宮城・福島県沖地震への対応もしなければならぬ状況ですので、甘い考えは許されないとの思いで副院長職にあたるつもりです。



副院長 安藤 肇史

以前、ある方から副院長の仕事は、対外的な仕事で忙しい院長の業務をサポートし、院内をまとめ上げることだと教えていただきました。当時はその意味がよく分からなかったのですが、この立場になって漸く多少理解できました。それは病院の方向性を決める院長の判断に、正確かつ有益な情報を提供し、多少の異論があっても納得して職員一丸となってその方向に進むよう、まとめ上げることだと考えています。

ご指導、ご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。



○写真左から

大坂企画課長、若佐事務部長、山本経営企画室長、
 安藤副院長、永野院長、増田管理課長、菅野看護部長、
 村上副看護部長、西村薬剤部長

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター
「みやべりー」

宮城病院
Instagram



※読み取ってください

令和3年度国立病院機構QC活動奨励表彰

令和2年度に取り組んだQC活動の「看護の見える化～業務改善に向けた第一歩～」が、令和3年度国立病院機構QC活動奨励表彰全国優秀賞をいただきました。

目に見えづらい看護の業務量調査を行い、業務に費やしている時間や種類、量などの実態を把握し業務手順の見直し、再構築に取り組んだ結果を発表しました。看護業務の実態が明らかになったことでスタッフ自身が自分たちの行動を客観的に見る機会となり、働き方を考える動機づけ、行動変容への第一歩となりました。

今回の受賞を励みに今後も質の高い看護、働きやすい職場環境を構築していきたいと思えます。受賞に際し、表彰状と立派なクリスタルの楯をいただきました。病棟スタッフステーションのカウンターに飾ってありますので、病棟にお越しの際にご覧いただければ幸いです。

(看護師長 大橋 昌子)



第14回宮城病院QCサークル活動発表会の入賞者

令和4年2月9日(水)宮城病院QCサークル活動発表会が行われました。今年度は久しぶりの聴講者も入れての開催となりました。

13サークルから発表があり、各職場で取り組んだ成果が発表されました。

当院のQC活動は今年で14年目を迎え、QC手法の活用や発表は年々レベルアップしています。中でも、入賞された3サークルはQC活動は過程はもちろんのこと、PDCAサイクルもしっかりしており素晴らしい内容のQC活動でした。また、惜しくも入賞を逃したサークルもいかに業務の質や病院の経営を良くするか、様々な観点からの取り組みと工夫がなされていた活動でした。

最後に、今回発表されたサークルにおかれましては、コロナ禍の影響で業務多忙の中、QC活動に取り組んでいただき大変ありがとうございました。次年度もさらにレベルアップした活動を期待しております。

(庶務係長 小原 有里)

令和3年度 第14回QCサークル活動発表会 順位結果

【最優秀賞(1位)】

職場：栄養管理室
サークル名：プロジェクト575
テーマ：経管栄養剤見直しによる経済効果

【優秀賞(2位)】

職場：療育指導室
サークル名：(株)車いす管理
テーマ：車いす使用に関する安全環境の整理
～いつでも どこでも ALSOK～
(ALwaysいつでも S素敵な Only唯一の K車いす)

【優秀賞(3位)】

職場：診療放射線科
サークル名：ラジエーションハウスII
テーマ：遠隔読影をSCAN



地域医療連携室から ～限度額適用認定証について～

こんにちは！地域医療連携室医療相談員の木村と申します。

「限度額適用認定証」についてお話しさせていただきます。

医療機関等の窓口でのお支払いが高額となったときに、あとから申請いただくと自己負担限度額を超えた額が払い戻される「高額療養費制度」があります。しかし、申請で払い戻されるとしても、一時的な支払いは大きな負担になります。

負担を軽減するためにも、事前に「限度額適用認定証」の交付を受けておくことをおすすめします。「限度額適用認定証」と保険証を併せて医療機関等の窓口で提示いただくと、1ヵ月（1日から月末まで）の窓口でのお支払いが自己負担限度額までとなります。ただし、食事代や保険診療外（個室料、文書料等）のものは別途ご負担いただく必要があります。

この認定証は、国民健康保険加入の方はお住まいの市区町村窓口、社会保険加入の方は各保険者に申請して取得することができます。

制度についての詳細や申請方法など、ご不明な点がございましたらお気軽に地域医療連携室までご相談ください。

（医療社会事業専門員 木村 麻美）

健康保険限度額適用認定証	
被保険者	住所
	氏名
年 月 日	
印	



部門紹介 ～医事室～

医事は、外来および入退院の受付、診療費の計算・請求等、病院の収入源である診療報酬の管理を中心とした業務を行っています。

今年度より、これまで委託していたクラーク業務と入院算定（一部）を職員が担当することになりました。4月1日、どうなることかと不安でしたが、杞憂に終わりました。これも担当スタッフが、以前と変わりがなく業務が円滑に進むよう頑張ってくれたおかげです。

そんな中、我が職場にピカピカのNewフェイスが配属されました。もう一人、異動により係長から係員になり、グッと平均年齢が下がりました（笑）

医事の窓口は、患者様が最初に接する場所です。スタッフの笑顔と誠意ある対応を心掛け、気持ち良く受診していただけるよう努めて参ります。

新採用・異動者を紹介します。（①氏名 ②ふりがな ③役職 ④趣味・特技 ⑤出身地 ⑥ひとこと）

（専門職 遊佐 博子）

- ① 熊澤 百花
- ② くまざわ ももか
- ③ 算定・病歴係
- ④ 散歩
- ⑤ 宮城県 亘理町
- ⑥ 少しでも早く仕事を覚えて、宮城病院に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



- ① 吉田 裕佑
- ② よしだ ゆうすけ
- ③ 算定・病歴係
- ④ 音楽鑑賞
エレキギター
- ⑤ 宮城県 大河原町
- ⑥ 宮城病院の一助となれるよう業務に励みたいと思います。

新採用者研修について

当院新規採用者17名と新たに宮城病院へ異動となった職員に対する新規採用者研修が執り行われました。ここ2年続いた地震により大会議室は大きな被害を受けました。今年度は場所を変え、改装された白く明るい部屋で新規採用者を迎えることができました。宮城病院が初めての就職先となった新人看護師や事務職員、数年ぶりに宮城病院に戻ってこられた職員、昨年度より引き続き働く職員、それぞれの思いを胸にこの新しい会議室からスタートを切りました。ともに宮城病院職員として頑張っていきましょう！



(教育担当師長 内海 麻耶)

福島県沖地震の復旧状況について

令和3年2月に発生した福島県沖地震を受け、地震時の被害が大きかった外来診療棟北側増築部分(救急外来など)の壁面修復工事を行い、4月頃より新たに救急外来部分が使用可能となる見込みでした。しかし今年3月16日深夜に発生した福島県沖地震(山元町は震度6弱)の影響により、外来管理棟やスプリンクラー設備が破損し、さらに大きな被害を受けてしまいました。その直後に機構本部、設計・建築施工業者による安全確認点検や耐震診断を行いました。結果的には、今後の余震などにより一部の建物に倒壊の恐れがあると判断され、脳神経外科外来や内視鏡検査などを行っていた診療エリアがさらに使用禁止となりました。現在は外来診療などに影響がないよう内科や脳神経内科に振り分けて診療を行っております。全体復旧までには、さらに時間がかかることとなりました。

今後もしばらくの間、病院全体にかかる建物内外部分の復旧作業が実施されます。当院をご利用の皆さまには、工事期間中大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。今後も「広報みやぎ」を通じて、進捗状況について報告いたします。

(企画課長 大坂 雄二)



手術材料保管庫などが倒れた様子



壁面が崩壊



地震直後に行った緊急点検の様子

水浸しで使用禁止となった外来の様子



楽天車椅子寄贈について

宮城県民なら知らない方はいないはず、ご存じ「東北楽天ゴールデンイーグルス」。そのイーグルスが「イーグルスホームランチャリティー」を行っていることをご存じですか？この企画は、2021シーズンに楽天生命パーク宮城で開催された一軍公式戦33試合でのホームラン記録と同数の楽天イーグルスオリジナルデザインの車いす33台を、東北6県の病院・福祉施設に寄贈するという、太っ腹で地域貢献度の高いもの。その寄贈先として、今年度当院も選ばれ、車いすを寄贈していただきました。折角のプレゼント、飾るだけでは勿体ないし…ということで、当院に入院する重症心身障がい児（者）にお披露目&記念写真撮影会！球団歌をBGMに、帽子やレプリカユニフォームを身体に合わせてパシャ！笑顔も多く見られ、新たなファン獲得にも一役買いましたよ。ありがとう！イーグルス。次のプレゼント、いつでもお待ちしております。

(元療育指導室長 山崎 宣之)



寄贈された楽天イーグルス
オリジナルデザインの車いす



乗車風景

副院長定年退職にあたって

私はこの度、約28年間勤めました宮城病院を定年で退職させて頂くことになりました。1994年の着任までは基礎医学研究に重心を置いていましたので、30歳代後半の医師としては臨床に不慣れな状態でのスタートとなりました。その経験から前半は臨床研究部の所属となり、1999年からは病院のマネージメントにも関わらせていただきました。徐々に臨床専任となり、副院長は2010年から12年余、務めさせて頂きました。大部分は仙台からの通勤で、6000~7000回は往復したことになります。着任以来、同僚医師はもとより、多くの病院スタッフ、近隣の先生方やスタッフの皆様、福祉関連の皆様のご助力を頂いて定年まで勤めることができました。新春パーティーなど楽しい思い出もたくさんできました。一方で東日本大震災やその後の度重なる大地震による建物の損壊、新型コロナ対策のための様々な制限などの苦難もあり、その真ただ中での退職となってしまいましたが、苦難の中でも当院職員や近隣の皆様の底力を見てまいりましたので、徐々に上向いていくものと確信しております。皆様にはどうぞ心身の健康に留意されて、これからの宮城病院を支えていって頂ければと願っております。



(元副院長 久永 欣哉)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	中屋 亮彦	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3)
	再来	永野 功	齋藤 早紀 (第1・3・5)	永野 功	中屋 亮彦	中屋 亮彦
		渡辺 靖章	船山 由紀乃 (第2・4)	松本 有史		金子 仁彦 (第2・4)
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行				東北大学病院から
循環器内科	午前			加藤 浩	東北大学病院から	
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科			佐野 寛仁			齋藤 悠
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・5週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後		(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				舘 一史		澤村 武 齋藤 香奈 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科					東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (第2・4週)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				東北大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)	
入れ歯外来				白石 成	重光 竜二	

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、急患の方は随時受付いたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2750円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

- 自動車でおいでの方●
 - 仙台方面から■
仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。
 - 相馬方面から■
国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。
- 交通機関をご利用の方●
 - 仙台方面から■
JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

